



農委だより 常総

令和3年1月1日発行
第 30 号

〒303-8501
茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3
電話0297-23-2111 (代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会

謹賀新年



菅生地区における繁殖牛の水田放牧



農業委員会 会長
増田 亮

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、農業委員会活動にご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

さて、昨年の農業、農村を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症拡大に関連し花き農家等に大きな影響が出たほか、外食産業の停滞に伴い米価が下落するなど想定外の事態が起こり厳しい状況でありました。

このような状況ではありますが、今後は、農地の保全と地域農業の活性化のため、農地利用の最適化の推進をより一層進め、この困難な時期を乗り越えなければなりません。

そうした中、本市農業委員会では昨年7月の改選により農業委員及び農地利用最適化推進委員が新たに任命委嘱され5ヶ月が経過し、新体制での活動も軌道に乗ってまいりました。我々農業委員会は、常総市農業の発展のため一丸となって責務を果たす所存でございますので、更なるご指導とご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

本年もよろしくお願いたします。

上段 農業委員(議席順)

下段 農地利用最適化推進委員(地区順)

- | | |
|--------|---------------|
| 高橋 敏明 | 欠 員 (水海道地区) |
| 永瀬 仁一 | 大島 定男 (大生地区) |
| 飯村 一二男 | 慶野 正一 (五箇地区) |
| 渡辺 宏行 | 小林 仁一 (三妻地区) |
| 染谷 幸子 | 古谷 保 (豊岡地区) |
| 野口 孝夫 | 渡邊 正己 (菅原地区) |
| 塚田 忠男 | 古井 猛 (大花羽地区) |
| 石塚 勝 | 野口 永 (坂手地区) |
| 折原 一己 | 染谷 清 (内守谷地区) |
| 倉持 治 | 佐藤 宏弥 (菅生地区) |
| 中島 清 | 糸賀 達 (大塚戸地区) |
| 古谷 克美 | 吉田 博 (石下地区) |
| 倉持 孝男 | 倉持 信雄 (豊田地区) |
| 稲葉 知信 | 倉田 光雄 (玉地区) |
| 下村 利治 | 石嶋 照夫 (岡田地区) |
| 鈴木 将之 | 欠 員 (飯沼地区) |
| 荒木 正治 | 秋葉 雅男 (飯沼二地区) |
| 内海 浩之 | |
| 増田 亮 | |

水海道地区及び飯沼地区の推進委員は再募集を行っております。
推薦応募締め切り
令和3年1月25日

飯沼一地区 (鴻野山・鴻野山新田・古間木新田・古間木沼新田・古間木・馬場新田・大沢・大沢新田)
飯沼二地区 (馬場・栗山新田・左平太新田・孫兵工新田・崎房)

農家紹介

大花羽地区 草間宏之さん



我が家は、小規模の米・麦を生産する兼業農家でしたが、私が就農し、専業農家として営むために、野菜の栽培も始めました。

最初に取り組んだのが、ハウスでの水耕栽培による葉物野菜で、周年での出荷販売ができて、毎月の売上を安定させる事が目的でした。主に農産物直売所に出品し、売上も安定してきました。しかし、半年後に発生した東日本大震災で状況が変わってしまった風評被害等もあり、売上がない月が続きました。その後、露地野菜にも取り組み、出荷先を増やすことでもなん

とか乗り越える事ができました。昨年からは、ハウスでミニトマトの栽培を始めて、試行錯誤しているところです。

現在は、以前よりも安定的に周年で作物を出荷販売ができるようになり、直売所では消費者からの意見やうれしい言葉をいただき、それを励みに毎日、作業をしています。

また、コロナ禍で農業へも影響が波及する中ではありますが、消費者の皆様が安心して安全な野菜を食べていただくために、栽培技術の向上に努め、日々努力していきたいと思えます。

紹介推進委員

古井 猛 委員



草間さんは脱サラして家業の農業を継いで以来、水稲や麦、今では野菜の栽培も行っています。収穫してからすぐに直売所に出品するなどして、新鮮な野菜を消費者の皆さんにお届けするために頑張っている農家です。

地域の担い手

飯沼地区 町田定夫さん



私の家は、私と息子夫婦との3人で水稲一本の農業を営んでおります。

5年前、私が65歳の時に、息子が20年間務めた消防署を辞めて就農しました。後継者ができたことで耕作面積を10ha増やし、今は20haまで規模を拡大してきました。しかし、圃場があちこちに分散し60箇所もある現在の状況では、これ以上耕作面積を増やそうとしても、作業効率が悪く、体に無理が来るのではと思っている今日この頃で、今後は、私に代わり息子夫婦が主役となって頑張っ

てほしいと思っております。

稲作での農業を経営している中で、私が痛感し希望していることですが、これから地域の農業を守るためには、田んぼをはじめとする農地の集積・集約化がどうしても必要になってくると思われまますので、常総市の農業を次の世代に繋いでいくためにも農業委員・農地利用最適化推進委員の方々にお骨折りをいただき、地域農業の将来計画である「人・農地プラン」を積極的に推進していただきたいと思えます。

紹介農業委員

折原 一己 委員



石下地区鬼怒川西部での専業農家は、畑作農家が多く、稲作だけの方は件数が少ない現状です。飯沼地区でもここ数年、高齢化や後継者不足で稲作付が困難になりつつあります。そんな中、規模拡大し頑張っており、これからも地域の担い手として期待が寄せられている町田さん親子を紹介いたします。

人・農地プランのご紹介

地域で将来の人と農地について 話し合いませんか？

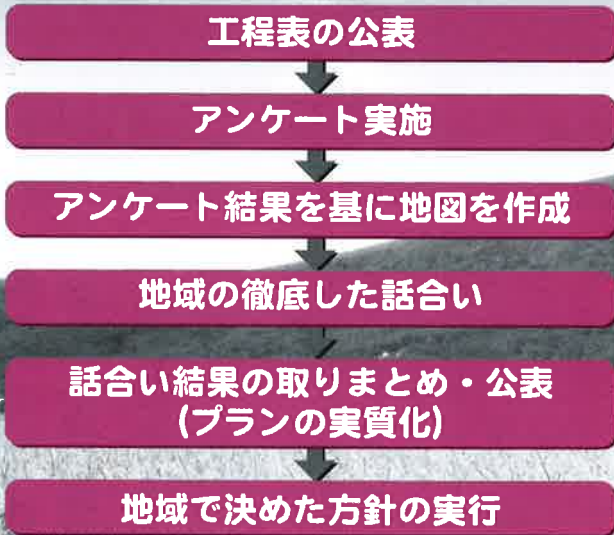
- ◆自分は、あと何年農業を続けていけるかな？
- ◆この先、耕作をやめてしまう仲間が増えていきそうだな！
- ◆いざという時、だれか農地を引き受けてくれる人はいるのかな？



だから今

5年先、10年先の地域の農地を
だれが、どうやって守っていくのか、
話し合っていきましょう。

人・農地プランの流れ



人・農地プランってなに？

『人・農地プラン』とは、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」です。地域の農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など人と農地の問題を解決するため、集落の農業者や農地の所有者の皆さんに、地域の農業についてアンケートや話し合いを行っていただいたうえで、5年後、10年後の地域農業のあり方をとりまとめた、集落の農業の「未来の設計図」を作成し、実行していくものです。

人・農地プランに積極的に取り組んでいただきますと地区を対象とする協力金や将来の農地利用を担う経営体を対象とする支援措置等を受けられるメリットがあります。

これからの地域の農業のために！

『人・農地プラン』は、後継者のいない農地を把握することにより、遊休農地の発生を未然に防いだり、散らばった耕作地を集約することで、より耕作しやすい環境を整えるなど、地域の農業のためになることを皆様に話し合い、実現させていく取り組みです。この取り組みには、地域の皆様の協力が必要不可欠となります。話し合いの場への参加や、アンケートへの回答など、『人・農地プラン』に協力する機会がありましたら、ぜひ皆様の地域の農業の将来のために、積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

『人・農地プラン』の詳しい内容につきましては、市役所農政課へお問い合わせください。
(TEL 0297-12319037)

令和2年度重点地域

- 東町地区
- 常総IC農地エリア
- 大花羽地区
- 菅原南部地区
- 菅生沼土地改良区
- 内守谷地区
- 豊田地区
- 崎房地区

※コロナウイルス感染症対策の為、地域での話し合いが行えない等の理由により、実質化が今年度中に完了しない場合もございます。



令和元年 主要業務実績

農地移動の実態 (1月~12月)

条 項 別	件数	面積(m ²)	
3 条	所有権移転	118	265,643
	賃貸借	5	28,784
	使用貸借	3	16,289
	届出	137	1,001,928
4 条	許可	20	9,032
	届出	6	1,742
5 条	許可	129	149,606
	届出	22	11,118
4・5条制限除外	11	16,642	
大臣許可	0	0	
18条解約	137	293,795	
証 明	非農地証明	1	135
	転用事実証明	0	0
	現況証明	6	7,058
農業経営基盤強化	570	2,461,256	

令和元年 農用地利用集積事業

(1月~12月)

地区別	面積(m ²)	地区別	面積(m ²)
水海道	31,338	内守谷	47,725
豊岡	164,387	菅生	38,770
菅原	102,518	大塚戸	6,431
大花羽	862,627	石下	180,197
三妻	163,521	豊田	87,271
五箇	162,007	玉	106,763
大生	105,880	岡田	166,713
坂手	58,996	飯沼	176,112
計		2,461,256	
田畑別面積			
田			1,860,204m ²
畑			601,052m ²
計			2,461,256m ²

農地パトロール

(農地利用状況調査)を実施

常総市農業委員会では、令和2年度も10月から11月にかけて市内全域の農地を対象に農地パトロールを行いました。

農地パトロールは、農地の利用促進に繋げるため主に「地域の農地利用の確認」「遊休農地の実態把握」「違反転用の発生防止・早期発見」を目的としています。遊休農地は雑草の繁茂、不法投棄や火災の原因となりますので、適切な管理をお願いいたします。

農地の維持管理が困難になった方は、農業委員・推進委員または農業委員会事務局までご相談ください。

北島氏博推進委員が

逝去されました

令和2年11月12日に北島氏博推進委員が逝去されました。平成31年2月以来2期にわたり水海道地区の農地利用最適化推進委員として地域の農業の発展にご尽力を賜りました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

豊かで安心な老後生活のため 農業者年金 に加入しませんか？

①国民年金第1号被保険者 ②年間60日以上農業に従事
③20歳以上60歳未満
この3つの要件を満たす方ならどなたでもご加入いただけます！

～農業者年金にはメリットがたくさん！～
・新制度になり、少子高齢化に強い積み立て方式で安心！
・保険料は2万～6.7万円まで選べていつでも変更可能！
・終身年金で80歳前に亡くなられても、遺族への死亡一時金あり！
・保険料の社会保険料控除で大きな節税効果！
・一定の条件を満たす若年層の農業者には最高1万円の保険料の国庫補助あり！
くわしくは、最寄りの農業委員、推進委員または農業委員会事務局までご連絡ください。



農業委員会事務局直通 ☎0297-23-9013

営農と暮らしに役立つ

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日
購読料 一ヶ月 七百円



発行所 全国農業会議所
申込み 農業委員会事務局まで
TEL 0297(23)9013

編集後記

昨年7月の改選後、新しい編集委員により作られた農委だより常総第30号です。表紙写真は、今年の干支の丑にちなんで、菅生町の黄金地区で水田放牧されている牛を朝日とともに撮ってきました。